

令和元年度第1回栗原市総合教育会議会議録

1 招集日時 令和2年1月29日(水) 午後1時30分

2 招集場所 金成庁舎201会議室

3 出席構成員

市長	千葉健司
教育長	佐藤新一
教育委員	笠間八十公
教育委員	蘇武徳行
教育委員	久我一仁
教育委員	千葉みどり

4 説明等のため出席した者

教育部長	菅原昭憲
教育部次長	鈴木学
教育部次長	多田陽
教育総務課長	入野美奈子
学校教育課長	小野寺幸博
学校教育課副参事	高橋和宏
社会教育課長	伊藤寿浩
文化財保護課長	大立目正孝
教育総務課長補佐	菅原光宏
総務課長	國井浩
総務課秘書係長	中村雅彦
教育総務課長補佐	菅原光宏

5 開会

午後1時30分

教育総務課長

定刻になりました。皆様、御起立願います。只今から、令和元年度第1回栗原市総合教育会議を開会いたします。よろしくお願いいたします。御着席ください。

6 あいさつ

教育総務課長

栗原市長 千葉健司より御挨拶を申し上げます。

市長

教育委員の皆さまには、大変お忙しい中、御臨席をいただきましたこと、感謝を申し上げます。去る1月12日の成人式には、全員参加の上、素晴らしい爽やかな成人式になったと思っております。何人かに聞いてみたところ、最後に何かあるのかと思ったとのことで、これで終わりですかという感じだったということもありましたが、父母は、

「青空応援団が良いことを言っていた。」、「本来であれば、親が言わなければならないことを、彼らに言っていただいた」との意見もありました。栗原市のように2部構成で式典とアトラクションを行っているところは、ほとんどありませんが、今日は、この辺も御議論していただくことになると思います。

毎年1月1日に発表になります宝島社の住みたい田舎暮らしランキングで、栗原市は、昨年1位でしたが、今年は2位になり、酒田市に抜かれてしまいました。トップの座を1年で明け渡し、非常に悔しい。栗原市は、昨年より点数を上げたにも関わらず、抜かれたということであり、酒田市も、ベスト5常連の都市であります。どちらかという栗原の得意な評価項目が変更されたり、無くなったりして、毎年、着目点が変わりますので、なかなか焦点を絞るのが難しい。住みたい田舎暮らしランキングは、我々自治体関係者だけではなく、高校生も見ております。そして、企業関係者も企業ガイダンスの際に、これを持って、「うちは東北で一番のまちにある工場です」などと言うと、人が集まってくると言われており、重版してもすぐに売れてしまうそうです。今年は、東北で一位を取り戻すべく頑張りたいと思います。

今年は、3月10日に東北新幹線（くりこま高原駅）が開業30周年を迎えるということで、記念すべき年であります。3月22日は、この式典を開催することになっています。

4月になりますと、合併してから丸15年が経つということで、市制施行15周年の記念式典を、8月23日に行う予定となっています。

また、東北で初めてだと思いますが、台湾南投市と公式な国際姉妹都市契約を締結いたします。おそらく8月29日の日曜日、市民まつりにおいて、私と宋市長がサインをすることになると思います。

その前に、オリンピックが開会します。15日から選手村に入村できるということですが、25日からのスタートになります。現在、栗原市は、グランドホッケーの誘致をしており、延べ6か国にオーダーを掛けて、ウェルカムメッセージを出しております。現在、その中で南アフリカ共和国が行きたいという意を伝えてきておりますが、最終的な国の認証に時間が掛かるということで、今のところ、内定といったところではないかと思っております。そうすると、7月上旬から中旬まで居ることになり、国際色一色の栗原になる予定でございます。ホストタウンも契約の段階に行くと思っております。切符は、たくさん取るそうですから、皆様も、ぜひ、南アフリカ共和国の試合を応援していただければ、幸いです。南アフリカ共和国までは、24時間ぐらい掛かるそうですが、頑張ってみてみたいと思います。私の年齢で言いますと、自国開催のオリンピックは、最後だと思っております。東京都が主催するオリンピックではありますが、日本全国で盛り上げる世紀の祭典を、栗原市も応分に担当して、一流になりたいと思っておりますので、よろしくお願

ます。

今日は、さまざまなテーマに関しまして、お話しをするわけですが、忌憚のないところで、お話しいただければ、幸いです。よろしくお願いいたします。

7 協 議

教育総務課長

3の協議に入りたいと思います。本日の議題は、2件となっております。1議題につき、説明及び意見交換で20分から5分程度で進めていただきと思いますので、よろしくお願いいたします。終了は、午後2時30分頃終了できるよう御協力をお願いいたします。会議の議長は、栗原市総合教育会議運営要項第3条第1項に定められておりますとおり、千葉市長となります。よろしくお願いいたします。

(1) 成人式のあり方について

市 長

これからは、私が議長を務めさせていただきます。進行に御協力いただきますようお願いいたします。では、議題(1)成人式のあり方について、事務局から説明をお願いします。

社会教育課長

資料1、2、8をご用意いただきます。私からは、資料8で概要をご説明いたします。成年年齢引き下げに伴う成人式のあり方についてであります。平成30年6月に成年年齢を規定する民法が改正され、20歳から18歳へと成年年齢が引き下げられました。民法が定める成年年齢とは、単独での契約の締結することができる年齢、親権に服することがなくなる年齢を意味しております。男女で異なっておりました婚姻年齢についても18歳に統一されております。その他、年齢要件を定める他の法令についても、必要に応じて18歳に引き下げられるなどの改正が行われたところであります。次に、成年年齢引下げを見据えた環境整備ですが、成年年齢は、改正民法の施行日、令和4年4月1日の時点で、18歳以上20歳未満の方、平成14年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれまでの方々、その日をもって成年に達することになります。平成16年4月2日以降に生まれた方については、各々18歳の誕生日に成年に達することになります。成人式の時期やあり方に関しましては、法律で規定しているものではなく、各自治体の判断で実施しているところではありますが、政府では、成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する府省庁の連絡会議において、関係者の意見や各自治体の検討状況を取りまとめた上で情報発信して、それぞれの自治体が実情に応じた対応できるよう取り組んでいきたいとのことでもあります。最後に、栗原市成人式についてであります。令和2年度、3年度の成人式につきましては、例年どおり令和3年の1月、令和4年の1月に開催する予定としていることではありますが、令和4年度以降の成人式については、開催時期や対象年齢など、成人式

のあり方について、検討しなければならないと考えているところがございます。なお、裏面には、改正された民法の要点をまとめてございますので、御覧いただきたいと思います。私の説明は、以上であります。

市長

事務局から成人式の基本的な考え方を報告しました。20歳から18歳に引き下げられる部分がありますが、委員の皆さんは、どのような感想をお持ちか、自治体が成人式を開催することについて、どのように考えるか、栗原市でもアンケートのようなものを実施した方が良いか、式後のアトラクションが必要かについて、議論したいと思います。はじめに、18歳からにすべきか、現行のまま20歳からで良いのか、議論していただきたいと思います。

千葉委員

成人式を行う年齢は、20歳の方が良いのではないかと思います。18歳で成人となると、栗原市の場合、大学入試の一週間前となり、バタバタした状態となってしまいます。また、経済的な面でも着物の準備や大学入試のお金の準備など、その時期に集中してしまうため、今までどおり、20歳が良いのではないかと思います。

笠間委員

私も同じ意見で、18歳で実施しても、参加者が少なくなってしまうのではないかと思います。

久我委員

20歳と17歳の娘がおりますが、私も20歳がベストかと思いません。18歳は、この時期に試験があるなど、出席率が低くなるのが目に見えるのではないかと思います。

蘇武委員

18歳を成人にするということと、20歳まで成人式を延ばすということの意味合いを理解してもらわないと、成人なのに、なぜ2年延ばすのかということになってしまいます。私は、18歳と20歳の考え方を、しっかり理解させないといけないと思います。

教育長

成人になるのが18歳であることから、成人としての自覚を持たせる場としてお祝いするのが成人式で、20歳に行う場合、成人式という名称は、あまりふさわしくはないのかと思います。例えば、「二十歳の集い」や「二十歳の祝い」など、考えられるのではないのでしょうか。

市長

18歳は、現行民法の規定では、刑法のかかる年齢になるということと、選挙権が与えられるということです。たばこの喫煙や飲酒は禁止されています。一般の成人と比較し、制限された権利しか持っていないということになります。名称を変えますか。仮に18歳と19歳も合わせて、若柳総合体育館に収容できますか。

社会教育課長

3学年合わせると、1,600人程度になります。

市長

子どもたちは入れても、親が入れないことになりますね。

蘇武委員

ほとんどが高校生で、学校の集会をしているようになります。子供たちは、あまりピンと来ないのではないのでしょうか。

笠間委員

成人式のアンケートを見ると、しばらく会っていなかった同級生に会いたいという回答が一番多いようですので、高校生は集まらないのではないかと思います。

市長
教育長 令和4年から名称を変えるということで良いですか。
今後、他の市町の考えも参考にしながら、検討するということが良いのではないのでしょうか。

市長
教育長 それでは、そのようにさせていただきます。
二つ目は、自治体が成人式を主催することについて、どのように考えるかについてであります。事務局に質問しますが、他の自治体では民間が行っているということもあるのですか。

社会教育課長 自治体以外が行っている例は無いようであります。栗原市と同様、新成人による実行委員会による開催がほとんどだと思われます。資料2の4ページをご覧ください。これは全国のものですが、宮城県内は、14市17町1村が1月、3町1地区が大崎市鳴子地区で8月となっています。

蘇武委員 資料1で、「主催は自治体がふさわしいか」との質問に対して、「そう思わない」との回答が27.9%ありますが、その理由はあるのでしょうか。

社会教育課長 この資料は、日本財団の調査であるため、理由は分かりません。
市長
教育長 当面は、自治体が主催することになると思います。
栗原市のやり方がベストだと思っています。成人者は、お客さんではなく、自分たちが式典を催しているとの自覚を持つことが必要です。

市長 本件に関しては、この方向でよろしいと思います。次に、アンケートを実施した方が良いかについてです。

笠間委員
教育長 これから成人を迎える方の声を聞いても良いのではないのでしょうか。
このアンケートは、どのような内容で、誰に対して行おうと考えているのですか。

社会教育課長 令和4年度に成人年齢を迎える方は、来年度の高校生1年生になります。その方々を対象として、対象年齢をどうするかを含めたアンケートを行った方が良いかと考えております。

市長
久我委員 アンケートは、取る方向で検討してください。
学生の場合、未来の描き方が分からず、今の気持ちで動くので、アンケートをしても正確な回答を得ることが難しいと思います。アンケートも必要かとは思いますが、市長や教育委員会が判断した方がうまくいくと思います。

教育長 私もどちらかという、久我委員と同様の意見で、全国調査の結果を見ると、出席したい人は7割を超えています。栗原市は、例年これよりも高く、8割5分前後が参加している実態にあるので、場を設定してあげるということで良いのかと思います。

市長 私の予想では、18歳にしてくれとは、高校生は言わないと思います。一応、参考としてアンケートは取ってみて、現行通り実施するとした方が、筋が通ると思います。

蘇武委員 アンケートを取るのであれば、これまでの実績を資料で示さないと、

何のことか分からず、書けないのではないかと思います。

教育長

市内在席の高校1年生から3年生まで、全員を対象とすることは難しいため、標本調査のような形での実施が良いのではないかと思います。

市長

次に、式後のアトラクションは必要でしょうか。

笠間委員

私は、市の成人式しか見ていなかったのですが、当たり前と思っていましたが、隣の市では、アトラクションは無く、市内の歴史博物館の入場券などを記念品としているようです。また、インターネットで調べてみたところ、式典の名入りのボールペンや小物を配布している自治体もありました。しかし、今の子どもたちは、物を持っているため、だいぶ捨てられていたとのこと。そのような話を初めて知って、やはり栗原市はすごいと思い、若い人たちに話したところ、「田舎にいて、有名人をライブで見るなどできないため、すごく良かったです。成人式は、今のままで良いです。」との意見を伺いました。今後、子どもの数が減り、市の予算がどれだけ使えるか心配ですが、もう少し成人者からのアイデアがあっても良いのではないかと印象を受けました。

蘇武委員

青空応援団は、説教染みた話ではなく、非常に良い話でしたが、繰り返し同じ内容で、少し話が長かったのではないかと思います。マギーさんの方は、外から人が入ってきて話したり、うまく受け答えしたりして楽しかった。アトラクションは、みんな楽しみにしているので、参加型のアトラクションが良いのではないのでしょうか。

久我委員

私は、埼玉の成人式に何度か出席したことがあります。向こうでは、行政の方が話をして記念品を渡すだけなので、成人者は、中にも入らず外で大騒ぎをして警察沙汰になっていました。しかし、栗原市の成人式は、第1回目から見ているのですが、荒れることもなく、来年のアトラクションは誰になるのでしょうかとの話も出てくるので、良いと思います。

市長

実は、この時期に芸能人が日本に居ないため、調整が非常に難しい。実行委員の皆さんに選ばせたいのは、やまやまですが、探せないと思います。

笠間委員

成人式ではなく、成人の集いになれば、日程を変更することもできるのではないのでしょうか。しかし、連休ではなくなるため、難しいかもしれませんね。

市長

私は、簡素化して夏に開催することは、好ましいとは思いません。経済的に厳しい方は居るかと思いますが、写真を撮って一生の財産とする訳ですから、やはり振袖を1回は着てほしいと思います。日本の良い伝統文化として、この時期で良いと思います。

蘇武委員

成人式の出席者は、毎年変わるので、同じアトラクションを3年でローテーションしては、どうでしょうか。

市 長

最後の盛り上げとしては、昨年のパンダライオンのように、音楽系の方が良いと思います。青空応援団のアトラクションの際、最初、会場に入って来ないやんちゃな成人者がおりましたが、一番感動していたのは、その成人者でした。「人間、変えます」と、言っていましたので、良かったと思います。だいたい今のようなパターンで、しばらく行うということで良いでしょうか。

(はいの声あり)

笠間委員

一つよろしいでしょうか。市長がお話ししたとおり、成人式で日本の伝統である着物を着る機会があるということは、いいことだと思います。私が教育委員になって初めて成人式に出席した際、式典の間、ショールを羽織ったままのお嬢さんたちがたくさんいらっしやってびっくりしました。同席していた社会教育委員の方と「これはまずいね」ということになり、教育委員会の方に話し、翌年度から実行委員の方に式典が始まる前にアナウンスをしてもらおうなど、対策を講じていただきました。それから3年目以降、式典でショールを羽織ったままのお嬢さんはいなくなりましたが、今年、また、元に戻ってしまいました。おそらく新しい実行委員への引き継ぎが無かったのだと思います。若者は、洋装のファーだと思っていて、防寒着のイメージがありません。伝統文化を教える良い機会でもあるので、式典の間は取らなければいけないということを教えてあげるべきではないでしょうか。

市 長

そのようにしたいと思います。気を付けてください。

成人式の件は、以上とさせていただきます。

(2) 小中学校児童生徒の体力向上について

市 長

二つ目は、小中学校児童生徒の体力が非常に落ちているのではないかということであります。この件について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

資料3と4でご説明します。はじめに資料4をご覧ください。体力テストは全学年で行っておりますが、調査については、小学校5年生と、中学校2年生が抽出されております。体力テストの項目は、握力や上体起こしなどの8項目で回数や、タイムなどを点数に換算し、各項目10点満点で、合計80点満点となっております。次に資料3をご覧ください。栗原市の子どもたちの現状で、睡眠時間、それからテレビやゲームの視聴時間と体力合計点との関係を調査したものであります。4の(1)睡眠時間との関連であります。始めに全国平均点等の記載がありませんでしたので、点数をお話しします。5年生男子は、全国平均が、53.61点 県が52.66点、市が51.78点となっております。5年生女子は、全国平均が55.59点、県が55.06点、市が56.22点となっております。中学校2年生男子は、全国が41.69点、県が40.95点、市が40.85点。中学校2年生女子

は、全国が50.22点、県が48.54点、市が49.84点となっており、どの区分におきましても全国平均、県平均とほぼ同数で推移しております。睡眠時間との関連については、表を見ますと、どの区分も各時間帯に分布しており、一概にどの時間帯の点数が高いとはいえない状況ではありますが、総体的に見てどの区分でも7時間から8時間のグループは点数が高い傾向にありました。次に裏面をご覧ください。テレビやゲームの視聴時間との関連についてであります。表を見ますと、総体的に3時間以上ゲームをする子どもは、点数が低い傾向にあります。但し、中学生については、全く見ないグループの点数が低くなっておりますので、今後さらに分析してまいりたいと考えております。(3) その他の傾向といたしましては、①で自分にはよいところがあると回答した方は、平均より高い傾向が見られました。そして、オリンピック・パラリンピックに興味のある方は、高い傾向が見られました。5の課題につきましては、各小中学校で実態が異なることから、結果を分析するというので、先ほどお話しいたしましたテレビやゲームを全く見ない児童生徒が、なぜ点数が低いのかとの関連も、今後、分析することになります。(2)は、走力や筋持久力が低いことから、高める手立てを工夫する必要があるとしています。(3)は、オリンピック・パラリンピックの取り組みに関心のある児童生徒が多いことから、このような取り組みが必要であることが課題となっております。以上で説明を終わります。以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

市長

説明が終わりましたが、この件について、御発言がありましたら、お受けいたします。

蘇武委員

今は、体育の授業で難しいことは、ほとんどしません。児童生徒がけがをすれば、保護者から苦情が入るため、あまりけがをしないような競技種目にしか携わらないようになり、体力は伸びません。また、スポーツテストの握力や上体起こしなどは、専門に訓練する場や時間がありません。これを上げることが目的であれば、シャトルランの練習を2、3時間授業で行えば、上がると思いますが、この調査の目的だけに授業を行うことは難しいと思います。体育や業間の時間に、ボール一つを体育館に投げ入れ、汗がだらだらと流れるほど、サッカーやバレーボールをやらせれば、非常に良いと思いますが、その間、誰も見ていない中で事故があった場合、何をやってたのだということになると、教室に黙って座らせている方が良いとなってしまいます。その結果、このようなことになってしまっているのではないかと、私は思います。

笠間委員

何かの本で読みましたが、幼稚園児は、基本的動作ができていない。小中学校のデータでは、転んでも手が出ずに顔を打つなど、当たり前のことができていないようです。昔に比べると、外遊びが減っているように感じます。その辺からテコ入れしないとイケないのではないかと

と思います。

千葉委員

今の子どもたちは、親が「危ないからやめなさい」などと言って、外遊びをしない。昔の子どもたちように、走り回ったり、よじ登ったり、ジャンプして飛び降りたりする身体の使い方ができていない。そのために、転んでも顔から地面に当たってけがをするなど、身体の使い方が分からない子どもが多いと聞いています。子どもたちは、集まっても身体を動かさず、ゲームをしている。学校で、縦割りでスポーツをしたり、放課後にスクールバスの帰宅時間を少し遅くしたりして、校庭で遊ばせるようにするなどすれば、良いのではないかと思います。

久我委員

1964年のオリンピックの前の年に、戦後20年経って、日本男子の体力がだいぶ落ちてきたという発表がありましたが、東京オリンピックを契機に、スポーツをやってみたい子どもたちが増えたという話がありました。子どもたちが今年のオリンピックを見て、早い段階でスポーツや運動をすることで体力向上になればいいと思います。

教育長

平均すると、あまり変わりませんが、勉強も、運動も二極化が進んでいます。運動を一生懸命している子は、スポーツ少年団などもしています。していない子は、家に帰ってゲームなどをしており、両極端となっています。この状況を解決するためには、体育の授業を充実させるしかありません。例えば、体育の授業の始めに、10分程度の補強運動を必ず入れれば、積極的に運動に取り組まない子どもたちも運動することになるため、全体的な数値の改善が期待できます。このようなやり方で取り組んでいる中学校もあります。小学校も内容は異なりますが、各学校で取り組んでおります。業間の20分程の休み時間に、校庭を何周か周ってから遊ぶなどして、運動量を増やさないと難しいと思います。栗原の子どもたちは、肥満の割合が県内でトップクラスです。運動量が少ないことの証となっています。

市長

私は、スクールバスとの相関関係があると思いますが、どうなのですか。

教育長

無いとは言えませんが、3歳児健診の時点で、栗原の子どもたちは、県内で上位に居ますので、そのことだけに起因するものではないと思います。

蘇武委員

都会の子どもたちは、鉄道を利用するため、歩きます。この辺の子どもたちは、車で移動するため、ほとんど歩きません。

市長

この前、電車に乗ったら、青山幼稚園の園児が満員電車に乗っていました。どこから来たのか聞いたら、成田から来ているとのこと。大したものです。根性も付くし、さすがお受験した子です。

蘇武委員

欲が無くなってきてきたのかもしれませんが。運動会などでは、1位から6位まで賞品が同じで、一等になろうが、ビリになろうが関係ありません。1位の賞品が良ければ、それを狙う子どもたちが出るかもしれませんが、それが平等ではないとか、差別だという発想があるため、

意欲が生まれてこないのだと思います。人に負けたくないという気持ちが無くなってしまった。

市 長

小学生の子どもたちは、放課後にスポーツ少年団もやっている。塾に行く子もいる。放課後児童クラブに行っている子もいる。比率的には何割程度ですか。

教育長

スポーツ少年団は、2、3割程度でしょうか。放課後児童クラブは、低学年の利用は多いですが、高学年は少ないです。

多田次長

塾は、3割程度です。

市 長

放課後にどのような生活をしているか、アンケートを取ってみた方が良いのではないですか。塾にもスポーツ少年団にも行かないことが問題です。

蘇武委員

スポーツ少年団というと、野球、サッカー、剣道、バレーボール、バスケットボール、テニス、水泳があります。週に1、2回程度でしょうか。小学校で運動をしないと、中学校で部活に入っても、すぐに止めてしまいます。

千葉委員

小学校で運動をしていない子は、中学校に入った時、運動をしてきた子との差がすごく付いていけない。

市 長

放課後児童クラブは、仙台市、大崎市、登米市など、どこの都市でもやっているのですか。

教育長

やっています。厚生労働省の所管になります。

市 長

私は、学力向上と体力向上が果たせない一番の原因は、放課後児童クラブにあると思います。放課後児童クラブへ行って勉強もしないのであれば、塾に行かせることも検討してはどうかと思います。

教育長

支援員が教える資格を持っているわけでは無く、研修する時間もほとんどありません。

市 長

経済的なサポートをして、塾に通わせた方が良いのではないですか。

蘇武委員

親からすれば、放課後児童クラブに預けられれば安心です。外遊びすれば良いと思いますが、変質者が居たりすることを考えると、なかなか難しいため、放課後児童クラブに頼ってしまうのだと思います。

久我委員

教育長が話したとおり、体育の授業の最初の10分、15分で基礎体力を作るようなことを毎日することで、体力が向上するのだと思います。

市 長

ラジオ体操はしていないのですか。

教育長

やっています。学校独自の体操や宮城県独自の体操をしている学校もあり、基礎的なことは行っています。後は、体育の指導者が、どのようにして身体を動かすことが楽しいことであると子どもたちに伝えられるか、そのような授業を行えるかだと思います。何をやるにしても、継続して実施しないと成果は上がってきません。

市 長

スナック菓子を食べさせ過ぎるなど、食べ物の要因はあるのでしょうか。

笠間委員
市 長

肥満になれば、動きたくなり、負のスパイラルに陥ります。
家庭で子どもの好きなものを食べさせているところはないのでし
うか。

教育長
市 長
千葉委員

あると思います。
体育だけではなく、食事の面からも考えなければいけません。
好きなものばかり食べているので、栄養のバランスが悪いと思いま
す。

教育長
市 長

食育の日を取り組んでいる健康推進課とタイアップすると良い。
だいたいこのような意見に集約されるのだと思います。いろいろな
ご意見をいただきました。ご意見を参考にして、更に良い事業として
いきたいと思えます。

本日は、2議題について、様々なご意見をいただきました。今後、教
育施策を実施していく中で、よりよい事業になるよう努めていきたい
と思えますので、引き続きご協力をお願いいたします。本日の協議は、
以上とさせていただきます。事務局にお返しします。

8 その他

教育総務課長

本日は、長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。4 その他につきましては特に予定しているものはございま
せん。

9 閉会

教育総務課長

それでは皆様ご起立願います。以上をもちまして、令和元年度第1回
栗原市総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後2時33分